

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	鬼の館		■担当係	鬼の館
■評価事業名称	伝統文化継承事業			
■事業開始年度	平成6年度			
■評価事業コード	418300 - 006	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	民俗芸能の保存伝承と後継者育成の一助となり、鑑賞者の伝統文化に対する意識が向上する。解説を交えた鬼剣舞公演や大乘神楽団体の総合的な公演、地域の慣習等を参加体験型で紹介する催事等を開催する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	芸能公演	一般	●開催回数 14回 ●見学者数1,800人	●開催回数 13回14団体 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止 見学者数 1,980人
02	大乘神楽大会	一般	●開催回数 1回 ●出演団体数 7団体 ●見学者数200人	●大乘神楽大会開催回数 1回 出演団体数 8団体 見学者数 210人 ●新春大乘神楽公演回数 1回 出演団体数5団体 見学者数 219人
03	福豆鬼節分会	一般	●開催回数1回●入場者数4,000人	●開催回数 1回 ●入場者数 4,494人●出演7団体

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	1,468	1,378	1,454	1,377	
人件費	4,055	4,386	5,388	5,946	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,523	5,764	6,842	7,323	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	全公演回数	23回	16回	18回	16回	年間の芸能公演回数(芸能公演、大乘神楽、節分会)
02	出演保存会	37団体	32団体	35団体	34団体	出演した保存会数(芸能公演、大乘神楽、節分会のべ数)
03	見学者数	7,567人	6,284人	6,759人	6,903人	全公演の見学者数の総数
04	出演1団体当たりコスト	149.27	180.12	195.48	215.38	フルコスト÷02
05	見学者1人当たりコスト	0.72	0.91	1.01	1.06	フルコスト÷03

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

目標回数及び目標参加人数を達成している。

問題点・課題等

神楽の公演が鬼剣舞公演に比べ少なく、出演は限られた団体となっている。より多くの団体に公演活動の場を提供することが課題である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

市内には神楽公演に出演している団体以外にも神楽団体が存在している。その団体への活動の場を提供するために招聘団体を増やし、これまでに出演したことのない団体にも出演機会を増やす。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了